



2022年8月12日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝  
東京都港区芝浦1-1-1  
代表者名 代表執行役社長 CEO 島田 太郎  
(コード番号: 6502 東、名)  
問合せ先 執行役員  
コーポレートコミュニケーション部長  
石山 一可  
Tel 03-3457-2095

(差替) 2022年度第1四半期決算

当社は、一昨日の8月10日付で「2022年度第1四半期決算」の決算説明資料を開示しておりましたが、当該資料ファイルのアクセス制御設定に不備があったため、あらためて正しい設定のファイルを添付いたします。なお、記載内容に変更はありません。

以 上

**TOSHIBA**

# 2022年度 第1四半期決算

2022年8月10日  
株式会社 東芝  
代表執行役専務 CFO

**平田 政善**

# 注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。詳細については、有価証券報告書及び四半期報告書をご参照ください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの3ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- 当社はキオクシアホールディングス(株)（以下「キオクシア」）の経営に関与しておらず、同社の業績予想を入手していないため、当社グループの財政状態、経営成績またはキャッシュ・フローの見通しにはキオクシアの影響は含まれておりません。

# 今回ご説明のポイント

**22/1Q実績**      **当期純損益は対前同増益、営業外損益の増益が寄与**  
**22年度予想**      **営業損益は前回予想(5/13公表)通りの1,700億円**

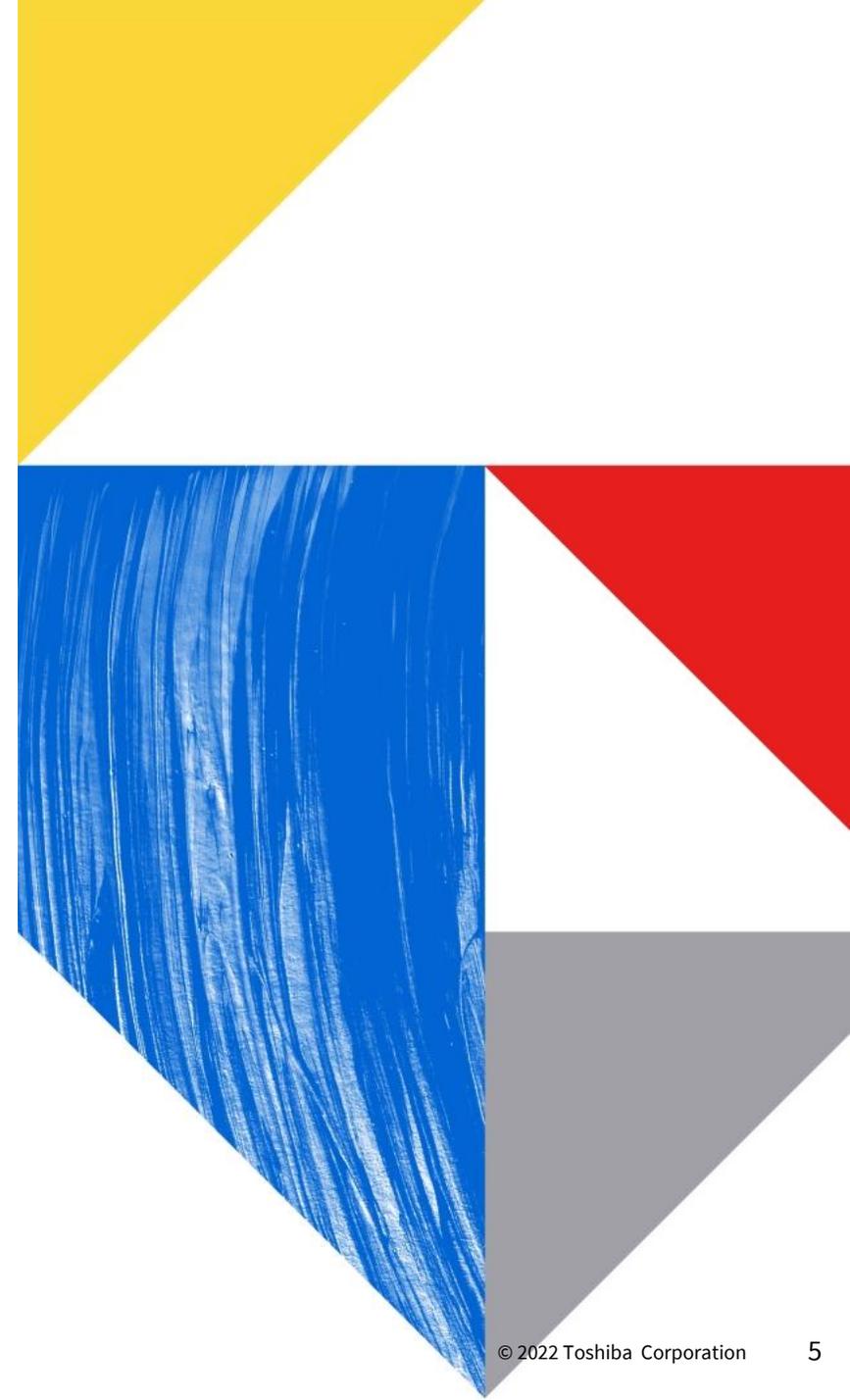
- 営業損益は対前同減益も、営業外損益の増益により当期純損益は増益
  - 売上高      21/1Q 7,279億円 → 22/1Q 7,407億円 (対前同 +128億円)
  - 営業損益      21/1Q 145億円 → 22/1Q ▲48億円 (対前同 ▲193億円)
  - 当期純損益   21/1Q 180億円 → 22/1Q 259億円 (対前同 +79億円)
- フリー・キャッシュ・フローは投資キャッシュ・フローを上回る営業キャッシュ・フローにより936億円を確保
- 受注高は昨年度における大口案件受注の影響等により減少も平年並み  
受注残は火力案件等の売上進捗により対前同で減少
- 22年度業績予想は、期初想定を上回る半導体不足や素材高騰影響に対し、  
売価アップや構成差等により、前回予想(5/13公表)通りの営業利益1,700億  
円の達成を見込む

# 本日のご説明内容

- 01 全社業績
- 02 セグメント業績
- 03 補足説明事項
- 04 2022年度業績予想

# 01

## 全社業績



# 損益項目

営業損益は対前同減益も、営業外損益の増益により当期純損益は対前同増益

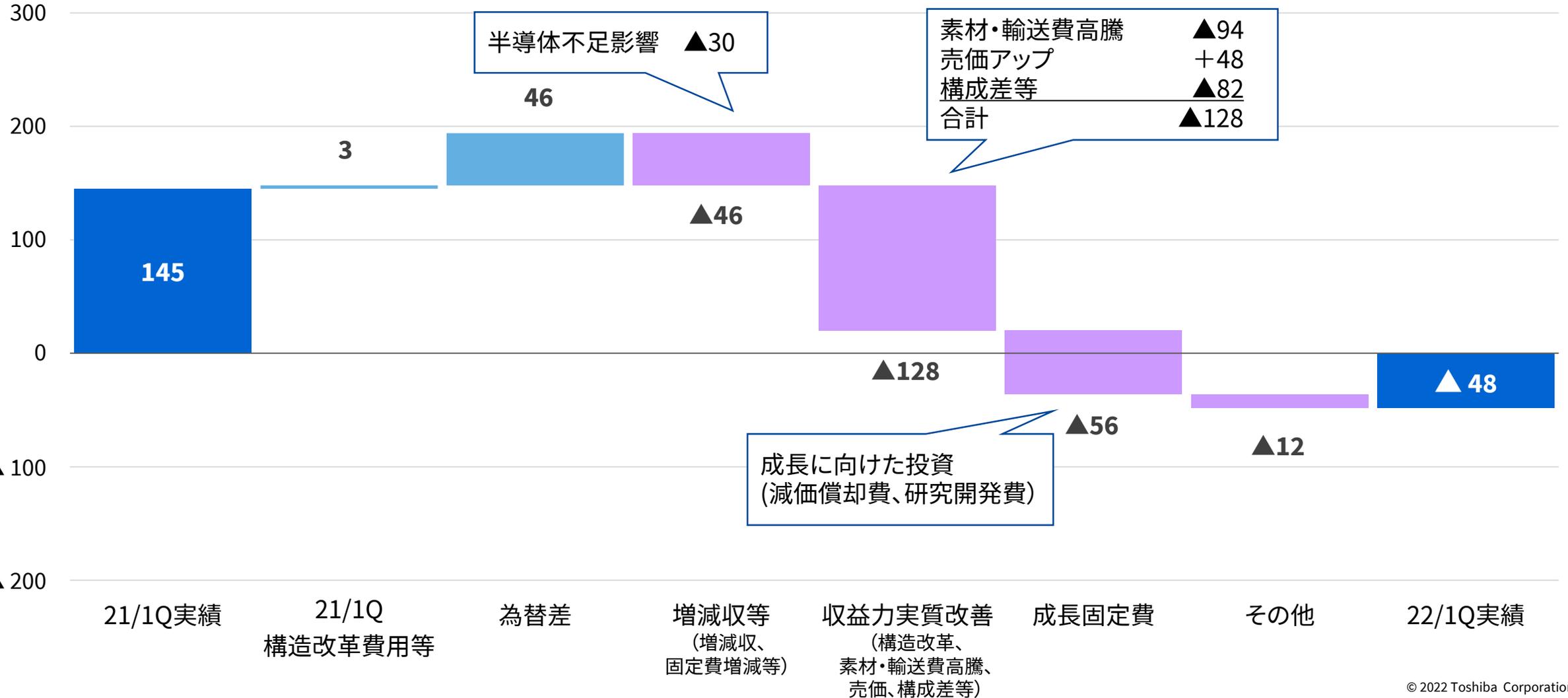
	21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
売上高 伸長率	7,279	<b>7,407</b>	+128 +2%	(↗) エネルギーシステムSL、インフラシステムSL、ビルSL リテール&プリンティングSL、その他 (↘) デバイス&ストレージSL、デジタルSL うち為替影響 +413
営業損益 ROS	145 2.0%	<b>▲48</b> <b>▲0.6%</b>	<b>▲193</b> <b>▲2.6%pt</b>	(↗) インフラシステムSL (↘) エネルギーシステムSL、ビルSL、リテール&プリンティングSL デバイス&ストレージSL、デジタルSL、その他 うち為替影響 +46
EBITDA EBITDAマージン	※1 358 4.9%	<b>173</b> <b>2.3%</b>	<b>▲185</b> <b>▲2.6%pt</b>	
税引前損益	292	<b>417</b>	+125	(↗) 営業損益 ▲193 営業外損益 +318
当期純損益 一株当たり当期純損益 発行済株式数 (千株)	180 39.65円 ※2 453,837	<b>259</b> <b>59.85円</b> <b>432,645</b>	+79 +20.20円 <b>▲21,192</b>	
期中平均為替レート (米ドル)	110円	<b>127円</b>	+17円	

単位:億円  
(↗):改善要因  
(↘):悪化要因

# 営業損益分析 (21/1Q→22/1Q)

円安による改善影響があるも、半導体不足影響、素材・輸送費高騰影響により対前同減益

単位:億円



# 営業外損益

## 有価証券売却損益および持分法損益の改善等により対前同増益

単位:億円

	21/1Q	22/1Q	差
金融収支	2	0	▲2
為替差損益	2	32	+30
固定資産売却損益	5	46	+41
有価証券売却損益	0	※1 301	+301
訴訟和解費用	▲9	▲51	▲42
持分法損益	64	153	※2 +89
その他	※3 83	▲16	▲99
合計	147	465	+318

※1:広東美芝精密製造社および  
広東美芝コンプレッサー社の売却益 200  
中部東芝エンジニアリング(株)の売却益 100

※2:キオクシア持分法損益差 +79  
(21年度1Q 43→22年度1Q 122)

※3:米国子会社清算に伴う外貨換算調整額の実現 35  
訴訟損失引当金戻入 29

# キャッシュ・フロー／バランスシート項目

	21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
フリー・キャッシュ・フロー	1,553	936	▲617	
営業キャッシュ・フロー	1,860	1,110	▲750	(▼) 前年同期における大口の前受金受領による影響
投資キャッシュ・フロー	▲307	▲174	+133	

単位:億円  
 (↗):改善要因  
 (↘):悪化要因

	22/3末	22/6末	差	主な差異要因
株主資本	12,066	12,217	+151	(↗) 当期純損益 +259 その他の包括損益累計額 +195
株主資本比率	32.3%	31.8%	▲0.5%pt	(↘) 配当 ▲303
Net有利子負債 ※	812	142	▲670	(↗) フリー・キャッシュ・フロー +936
除く、オペレーティングリース債務	▲279	▲901	▲622	(↘) 配当 ▲312
Net D/Eレシオ	7%	1%	▲6%pt	
除く、オペレーティングリース債務	▲2%	▲7%	▲5%pt	

※ Net有利子負債がマイナスの場合、Netキャッシュの状態(現金同等物が有利子負債を上回る)であることを示しています。

# 詳細項目

単位:億円

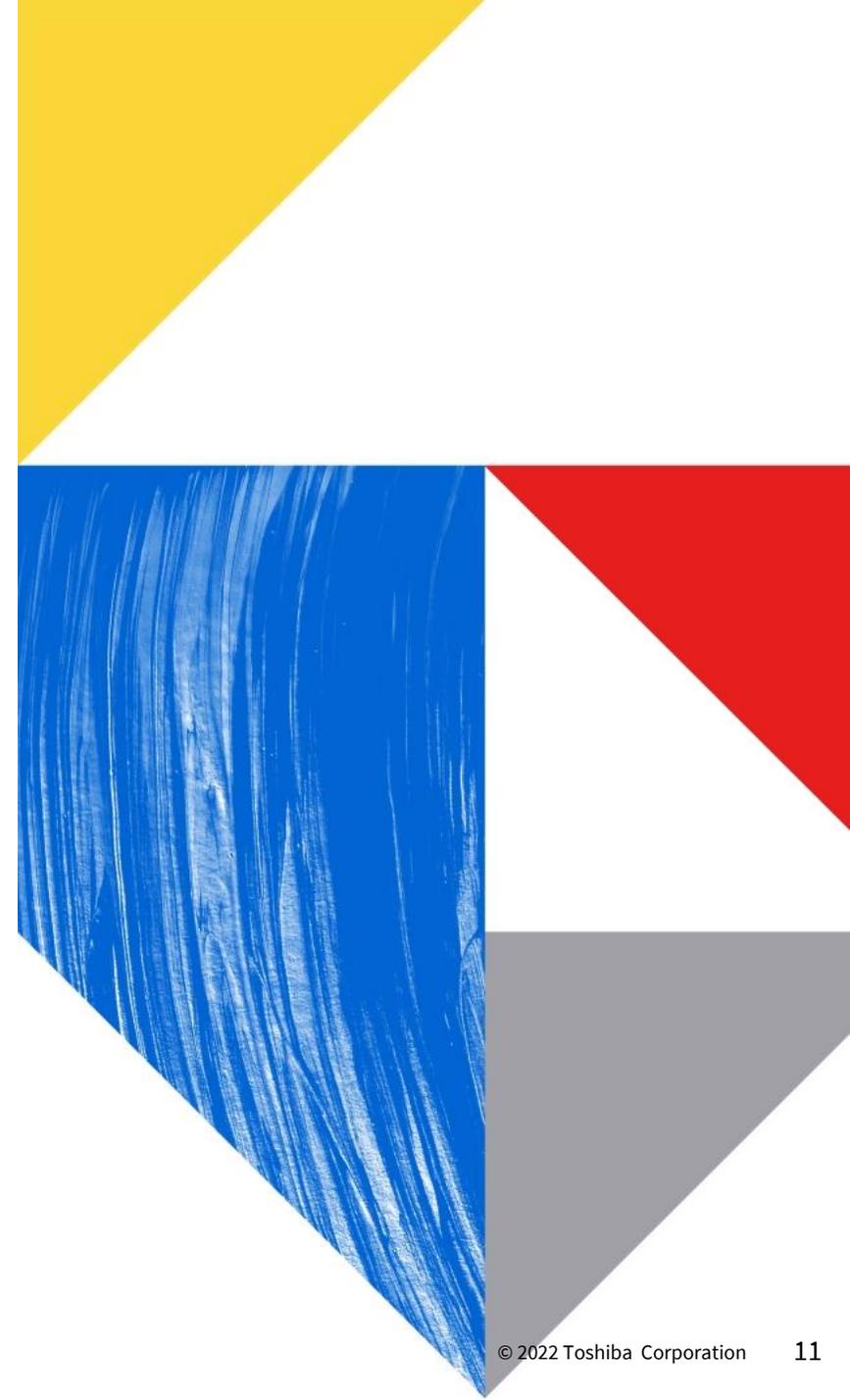
	21/1Q	22/1Q	差
売上高	7,279	<b>7,407</b>	+128
営業損益	145	<b>▲48</b>	<b>▲193</b>
営業外損益	147	<b>465</b>	+318
税引前損益	292	<b>417</b>	+125
税金費用	<b>▲57</b>	<b>▲55</b>	+2
非支配持分控除前当期純損益	235	<b>362</b>	+127
非支配持分帰属損益	<b>▲55</b>	<b>▲103</b>	<b>▲48</b>
当期純損益	180	<b>259</b>	+79
1株当たり当期純損益	39.65円	<b>59.85円</b>	+20.20円
フリー・キャッシュ・フロー	1,553	<b>936</b>	<b>▲617</b>

	22/3末	22/6末	差
株主資本	12,066	<b>12,217</b>	+151
株主資本比率	32.3%	<b>31.8%</b>	<b>▲0.5%pt</b>
純資産	13,667	<b>13,927</b>	+260
Net有利子負債	812	<b>142</b>	<b>▲670</b>
Net D/Eレシオ	7%	<b>1%</b>	<b>▲6%pt</b>
期末日為替レート(米ドル)	122円	<b>137円</b>	+15円

# 02

## セグメント業績



# セグメント業績

単位:億円

		21/1Q	22/1Q	差	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	987	<b>1,218</b>	+231	(+23%)
	営業損益	▲18	<b>▲76</b>	▲58	
	ROS	▲1.8%	<b>▲6.2%</b>	▲4.4%pt	
インフラシステム ソリューション	売上高	1,281	<b>1,351</b>	+70	(+5%)
	営業損益	▲4	<b>5</b>	+9	
	ROS	▲0.3%	<b>0.4%</b>	+0.7%pt	
ビル ソリューション	売上高	1,420	<b>1,423</b>	+3	(+0%)
	営業損益	64	<b>3</b>	▲61	
	ROS	4.5%	<b>0.2%</b>	▲4.3%pt	
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,105	<b>1,106</b>	+1	(+0%)
	営業損益	38	<b>2</b>	▲36	
	ROS	3.4%	<b>0.2%</b>	▲3.2%pt	
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	2,009	<b>1,815</b>	▲194	(▲10%)
	営業損益	103	<b>77</b>	▲26	
	ROS	5.1%	<b>4.2%</b>	▲0.9%pt	
デジタル ソリューション	売上高	485	<b>478</b>	▲7	(▲1%)
	営業損益	29	<b>25</b>	▲4	
	ROS	6.0%	<b>5.2%</b>	▲0.8%pt	
その他	売上高	504	<b>507</b>	+3	(+1%)
	営業損益	▲80	<b>▲106</b>	▲26	
消去	売上高	▲512	<b>▲491</b>	+21	
	営業損益	13	<b>22</b>	+9	
合計	売上高	7,279	<b>7,407</b>	+128	(+2%)
	営業損益	145	<b>▲48</b>	▲193	
	ROS	2.0%	<b>▲0.6%</b>	▲2.6%pt	

# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
エネルギーシステム ソリューション	売上高	987	<b>1,218</b>	+231	為替影響 +54
	営業損益	▲18	<b>▲76</b>	▲58	為替影響 ▲1 構造改革効果 ±0
	ROS	▲1.8%	<b>▲6.2%</b>	▲4.4%pt	
	セグメント別FCF		<b>50</b>		
発電システム	売上高	610	<b>776</b>	+166	
	営業損益	▲31	<b>▲43</b>	▲12	(▼) 火力・水力事業
	ROS	▲5.1%	<b>▲5.5%</b>	▲0.4%pt	
原子力 火力・水力	売上高	198	<b>242</b>	+44	(↗) 安全対策工事関連の工程進捗差等
	売上高	412	<b>534</b>	+122	(↗) 既受注案件の工事進捗等
送変電・配電等	売上高	389	<b>486</b>	+97	(↗) 送変電・配電システム、太陽光発電システム
	営業損益	18	<b>▲27</b>	▲45	(▼) グリッド案件の構成差
	ROS	4.6%	<b>▲5.6%</b>	▲10.2%pt	発電事業における燃料費・海上輸送費高騰
その他	売上高	▲12	<b>▲44</b>	▲32	
	営業損益	▲5	<b>▲6</b>	▲1	

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。  
 ※21年度実績は送変電・配電等とその他で一部を組み替えております。

# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
インフラシステム ソリューション	売上高	1,281	<b>1,351</b>	+70	為替影響 +33
	営業損益	▲4	<b>5</b>	+9	為替影響 ±0 構造改革効果 ±0
	ROS	▲0.3%	<b>0.4%</b>	+0.7%pt	
	セグメント別FCF		<b>573</b>		
公共インフラ	売上高	710	<b>716</b>	+6	(↗) 電波システム事業の規模増
	営業損益	25	<b>29</b>	+4	(↗) 電波システム事業の増収による増益
	ROS	3.5%	<b>4.1%</b>	+0.6%pt	
鉄道・産業システム	売上高	689	<b>736</b>	+47	(↗) 産業システム事業の為替による増収
	営業損益	▲29	<b>▲24</b>	+5	(↗) 鉄道事業の海外案件コスト減による改善
	ROS	▲4.2%	<b>▲3.3%</b>	+0.9%pt	
その他	売上高	▲118	<b>▲101</b>	+17	

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# ビルソリューション 主要事業内訳

単位:億円

	21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
ビルソリューション				
売上高	1,420	<b>1,423</b>	+3	為替影響 +77 (↗) 空調 (↘) 昇降機 (海外)、照明
営業損益	64	<b>3</b>	▲61	為替影響+7 構造改革効果 ±0
ROS	4.5%	<b>0.2%</b>	▲4.3%pt	(↘) 昇降機 (国内、海外)、照明、空調
セグメント別FCF		<b>87</b>		

# デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	2,009	<b>1,815</b>	▲194	為替影響 +166
	営業損益	103	<b>77</b>	▲26	為替影響 +44 構造改革効果 ±0
	ROS	5.1%	<b>4.2%</b>	▲0.9%pt	
	セグメント別FCF		<b>283</b>		
半導体 <sup>※1</sup>	売上高	783	<b>917</b>	+134	(↗) (半) 産業向けなど市況堅調 (↗) (N) マスク描画装置販売増
	営業損益	56	<b>124</b>	+68	(↗) (半)/(N) 増収による増益
	ROS	7.2%	<b>13.5%</b>	+6.3%pt	
HDD他 <sup>※2</sup>	売上高	1,226	<b>898</b>	▲328	(↘) (H) モバイル/デスクトップHDD市場の縮小 (↘) (転) 商流変更
	営業損益	47	<b>▲47</b>	▲94	(↘) (H) 減収による減益
	ROS	3.8%	<b>▲5.2%</b>	▲9.0%pt	(↘) (H) 製品保証引当金の計上 (注)

注: 特定顧客と品質認識について協議中であり、会計基準に則り適切な引当計上をしている。影響額は約▲40億円。

※1: ディスクリート、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

※2: HDD、部品材料、転売等

(半): ディスクリート、システムLSI

(H): HDD (N): ニューフレアテクノロジー

(転): 転売

# リテール&プリンティングソリューション デジタルソリューション

単位:億円

		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,105	<b>1,106</b>	+1	為替影響 +78 (▼) (R)減収 (↗) (P)増収
	営業損益	38	<b>2</b>	▲36	為替影響 ▲6 構造改革効果 +7
	ROS	3.4%	<b>0.2%</b>	▲3.2%pt	(▼) (R)減益 (↗) (P)増益
	セグメント別FCF		<b>▲13</b>		
					(R):リテール事業 (P):プリンティング (ワークプレイス) 事業
		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
デジタルソリューション	売上高	485	<b>478</b>	▲7	為替影響 ±0 (▼) 中部東芝エンジニアリング売却影響
	営業損益	29	<b>25</b>	▲4	為替影響 ▲1 構造改革効果 ±0
	ROS	6.0%	<b>5.2%</b>	▲0.8%pt	(▼) 中部東芝エンジニアリング売却影響
	セグメント別FCF		<b>283</b>		

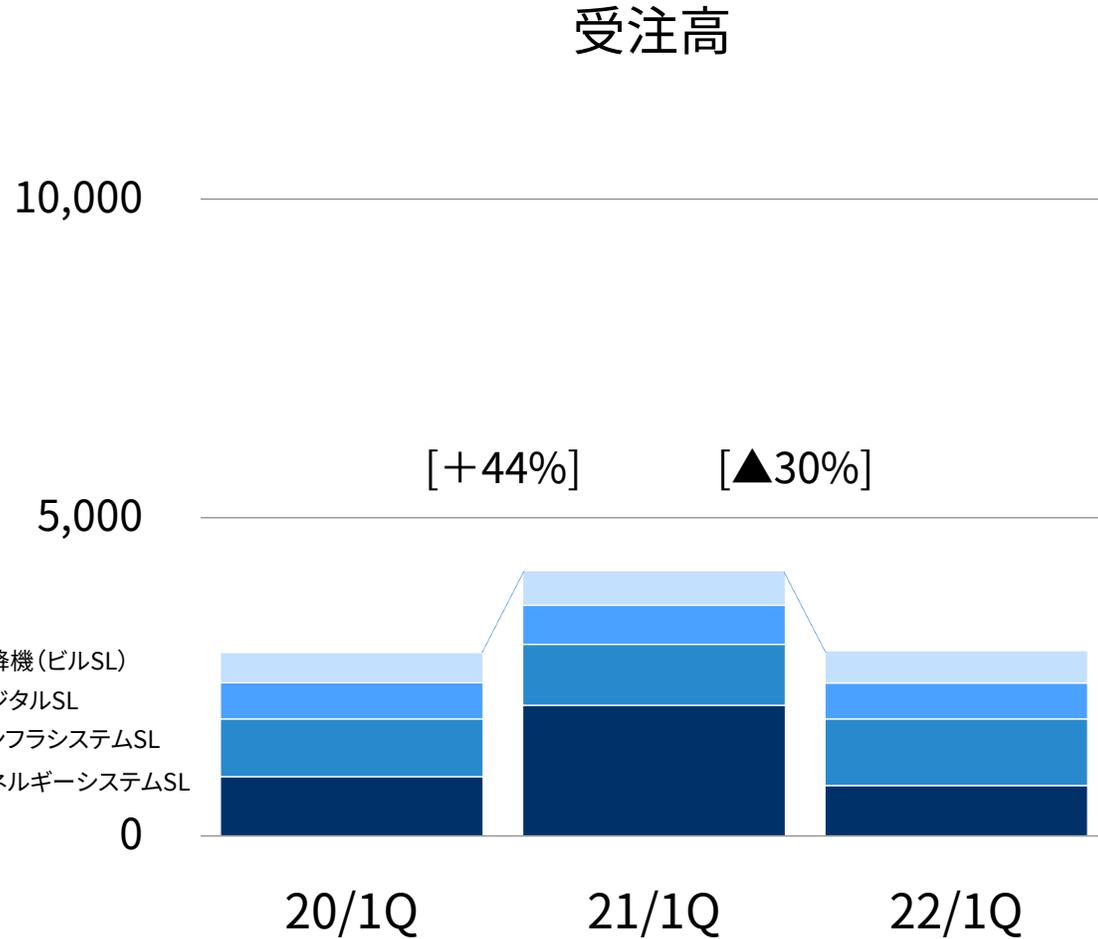
※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# 受注高 受注残 推移

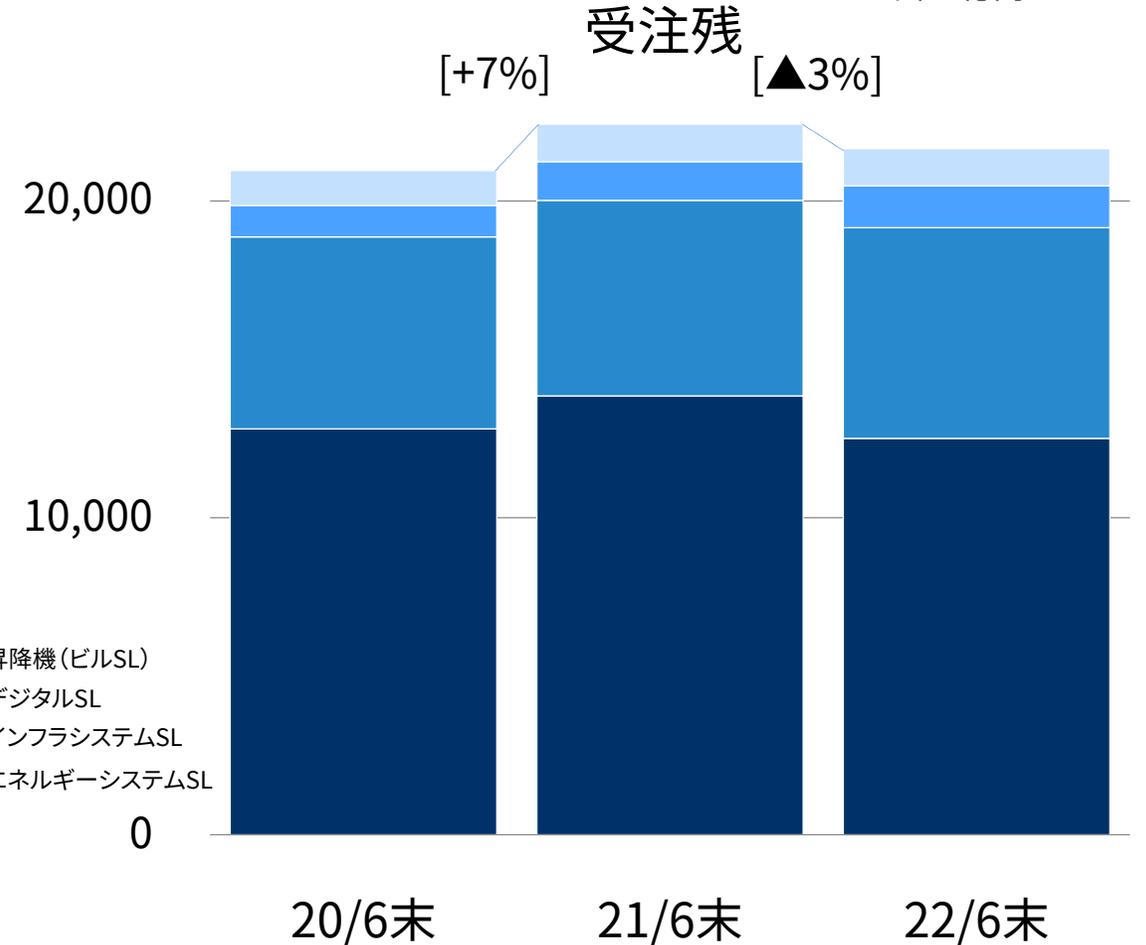
1Q受注高は平年並み。受注残は火力案件等の売上進捗により対前同で減少。

単位:億円

## 受注高



## 受注残



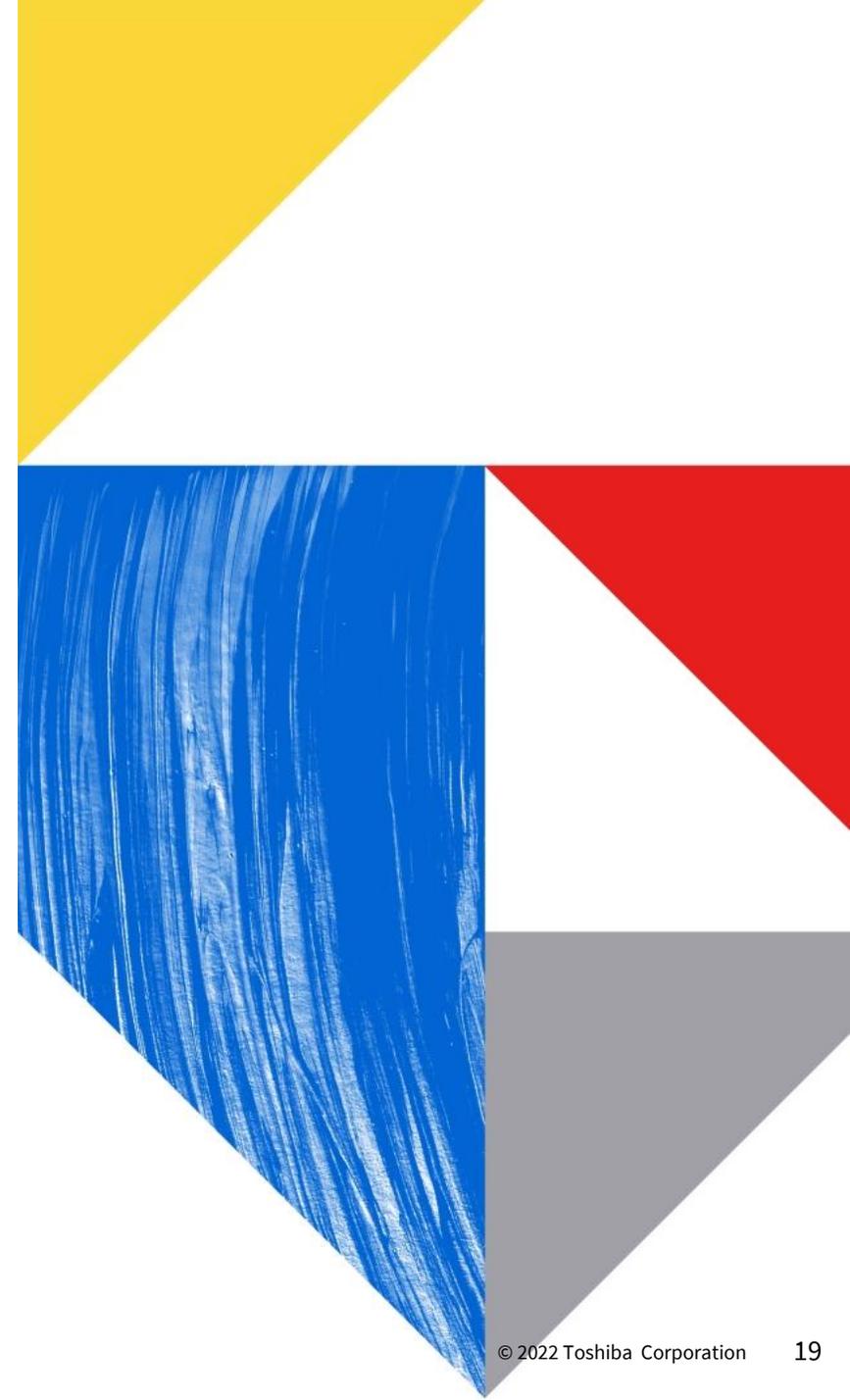
※”SL”はソリューションの略

※受注高及び受注残は、社内管理上の経営指標です。受注残は、四半期報告書で公表している残存履行義務とは異なります。

※一部セグメントにおける集計対象の変更により、昨年度以前の実績値を変更しています。

# 03

## 補足説明事項



# キオクシア持分法損益

単位：億円

	持分法損益	(PPA影響) 内数	除PPA影響	
<b>21年度</b>	1Q実績	43	(▲68)	111
	2Q実績	153	(▲68)	221
	3Q実績	190	(▲74)	264
	4Q実績	35	(▲64)	99
<b>22年度</b>	<b>1Q実績</b>	<b>122</b>	<b>(▲41)</b>	<b>163</b>

(ご参考) ビット成長率・ASP推移

	ビット成長 (対前Q)	ASP (対前Q)	
<b>21年度</b>	1Q実績	1桁%台後半の増加	10%台前半の上昇
	2Q実績	10%台後半の増加	1桁%台半ばの上昇
	3Q実績	1桁%台前半の減少	横ばい
	4Q実績	1桁%台前半の増加	横ばい
<b>22年度</b>	<b>1Q実績</b>	<b>20%台前半の減少</b>	<b>10%台前半の上昇</b>

データ提供：キオクシア

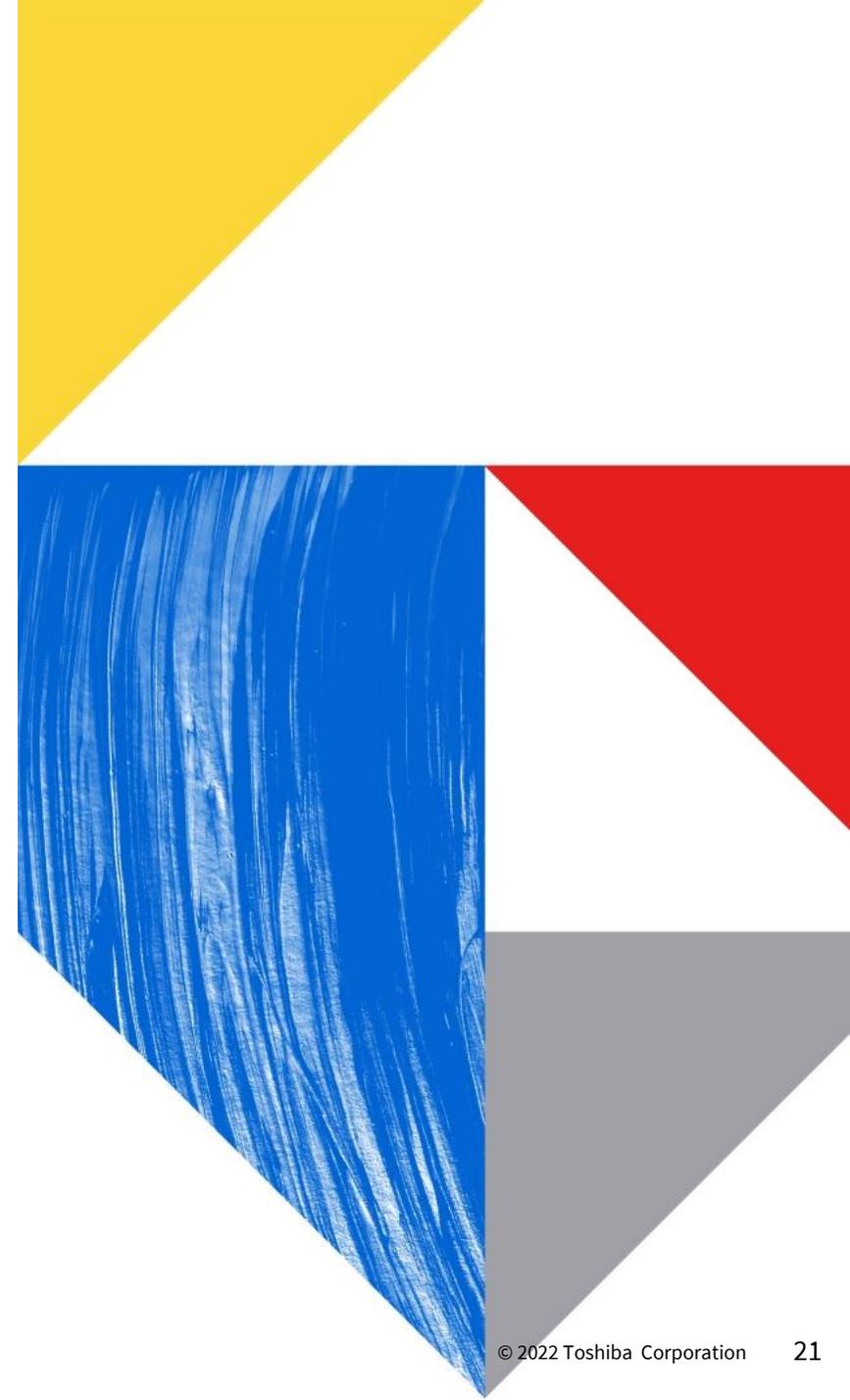
## [今後の見通し]

キオクシアの持分法損益に係る今後の見通しについて提供を受けていないため、当社の連結業績については実績のみのご説明とさせていただきます。

⇒ 22年度見通しにおいては、キオクシアの持分法損益の将来見通しを織り込んでいない参考値を開示しています。

# 04

## 2022年度業績予想



# 業績予想 全社

単位:億円

	21年度 実績	22年度 業績予想	差	対前回予想 (5/13公表)		22/3末 実績	23/3末 見通し	差	対前回予想 (5/13公表)
売上高 伸長率	33,370	<b>33,000</b>	▲370 ▲1%	0	株主資本 株主資本比率	12,066 32.3%	※ <b>12,800</b> <b>34.6%</b>	+734 +2.3%pt	+200 +0.4%pt
営業損益 ROS	1,589 4.8%	<b>1,700</b> <b>5.2%</b>	+111 +0.4%pt	0 0.0%pt	Net有利子負債 Net D/Eレシオ	812 7%	※ <b>1,000</b> <b>8%</b>	+188 +1%pt	▲200 ▲2%pt
EBITDA EBITDAマージン	2,441 7.3%	<b>2,700</b> <b>8.2%</b>	+259 +0.9%pt	0 0.0%pt	期末日為替レート (米ドル)	122円	120円	▲2円	0円
税引前損益 ※1	2,391	※ <b>2,800</b>	+409	+300	※22年度見通しは、キオクシアの持分法損益の将来見通しを織り込んでいない参考値です。				
当期純損益	1,947	※ <b>2,000</b>	+53	+250					
ROE	16.4%	※ <b>16.1%</b>	▲0.3%pt	+1.9%pt					
ROIC ※2	15.8%	※ <b>15.3%</b>	▲0.5%pt	+1.7%pt					
フリー・キャッシュ・フロー	1,247	<b>1,200</b>	▲47	+200					

※1 東芝キャリア(株)の株式譲渡に伴い22年度業績予想には営業外収益として800億円が含まれております。

※2 ROIC=(当期純損益-非支配持分帰属損益-支払利息×(1-税率))÷(純有利子負債+純資産)

# 業績予想 セグメント別

単位:億円

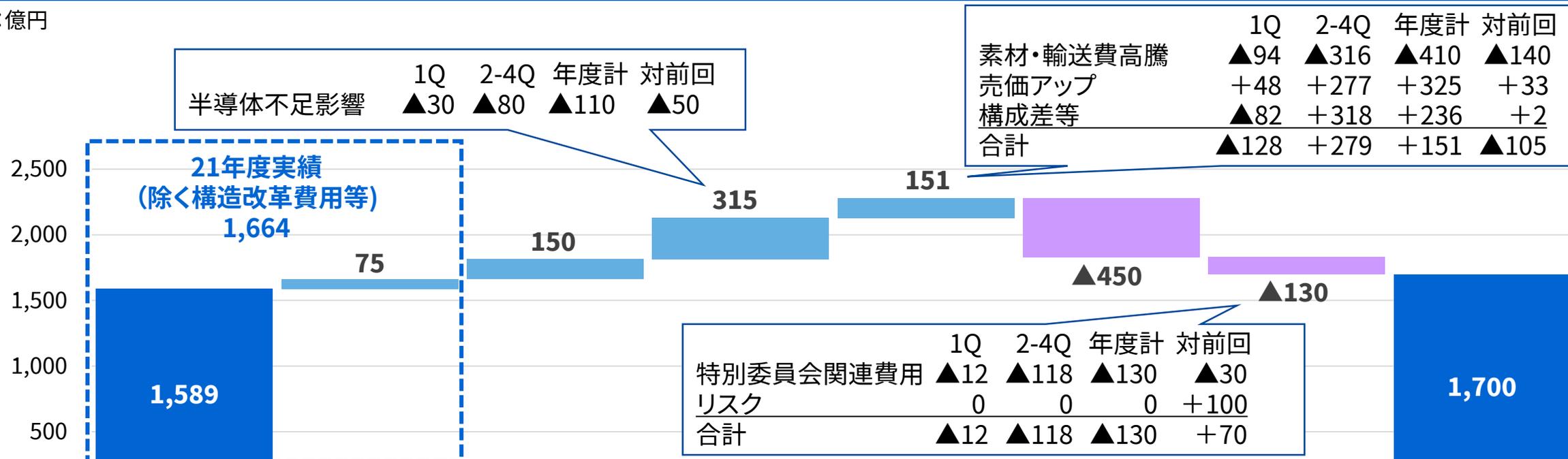
		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/13公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	5,590	<b>6,300</b>	+710	(+13%)	+200
	営業損益	356	<b>440</b>	+84		0
	ROS	6.4%	<b>7.0%</b>	+0.6%pt		▲0.2%
インフラシステム ソリューション	売上高	6,547	<b>7,000</b>	+453	(+7%)	0
	営業損益	417	<b>510</b>	+93		0
	ROS	6.4%	<b>7.3%</b>	+0.9%pt		0.0%
ビル ソリューション	売上高	5,990	<b>4,500</b>	▲1,490	(▲25%)	+100
	営業損益	263	<b>160</b>	▲103		▲30
	ROS	4.4%	<b>3.6%</b>	▲0.8%pt		▲0.7%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	4,532	<b>4,600</b>	+68	(+2%)	0
	営業損益	117	<b>180</b>	+63		0
	ROS	2.6%	<b>3.9%</b>	+1.3%pt		0.0%
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	8,598	<b>8,900</b>	+302	(+4%)	▲300
	営業損益	657	<b>750</b>	+93		▲50
	ROS	7.6%	<b>8.4%</b>	+0.8%pt		▲0.3%
デジタル ソリューション	売上高	2,306	<b>2,300</b>	▲6	(▲0%)	0
	営業損益	244	<b>220</b>	▲24		0
	ROS	10.6%	<b>9.6%</b>	▲1.0%pt		0.0%
その他・消去	売上高	▲193	<b>▲600</b>	▲407		0
	営業損益	▲465	<b>▲560</b>	▲95		+80
合計	売上高	33,370	<b>33,000</b>	▲370	(▲1%)	0
	営業損益	1,589	<b>1,700</b>	+111		0
	ROS	4.8%	<b>5.2%</b>	+0.4%pt		0.0%

※ 22年度業績予想には、東芝キヤリア(株)の株式譲渡に伴う影響を織り込んでいます。

# 営業損益分析(21年度→22年度)

期初想定を上回る半導体不足や素材・輸送費高騰影響に対し  
 売価アップや構成差等により、22年度は営業利益1,700億円の達成を目指す

単位:億円



1Q	145	3	46	▲46	▲128	▲56	▲12	▲48
2-4Q	1,444	72	104	361	279	▲394	▲118	1,748
年度計	1,589	75	150	315	151	▲450	▲130	1,700
対前回(5/13)	±0	±0	+50	▲15	▲105	±0	+70	±0

21年度実績

21年度実績  
 構造改革費用等

為替差

増減収等  
 (増減収、固定費増減等)

収益力実質改善  
 (構造改革、  
 素材・輸送費高騰、  
 売価、構成差等)

成長固定費  
 (減価償却費、  
 研究開発費)

その他

22年度見通し

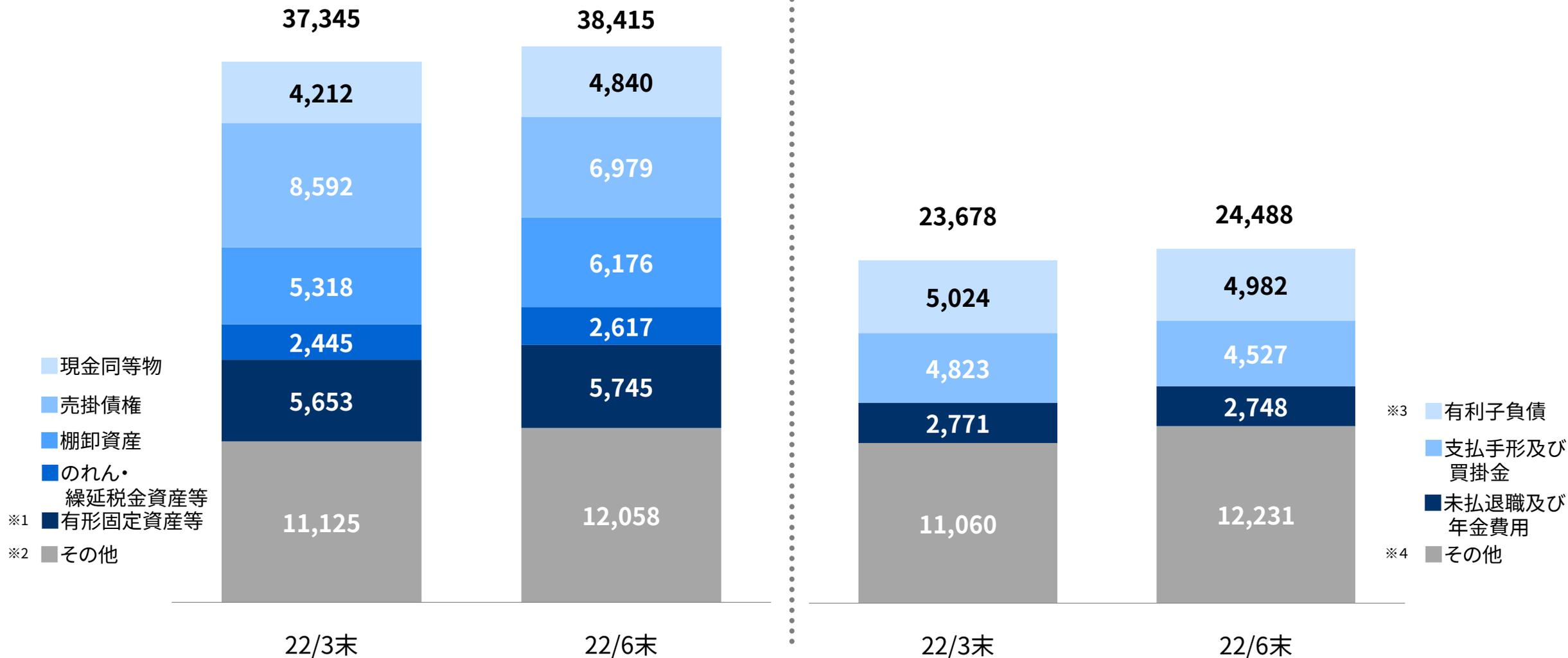
# Appendix

# 貸借対照表

単位:億円

## 資産

## 負債



※1 オペレーティング・リース使用权資産 (22/3末1,050億円、22/6末1,013億円) を含みます。

※2 東芝キャリア(株)及びその傘下会社にかかる資産 (22/3末2,154億円、22/6末2,487億円) を売却目的保有に分類し、その他に含みます。

※3 オペレーティング・リース債務 (22/3末1,091億円、22/6末1,043億円) を含みます。

※4 東芝キャリア(株)及びその傘下会社にかかる負債 (22/3末927億円、22/6末1,008億円) を売却目的保有に分類し、その他に含みます。

# 設備投資(発注ベース)

単位:億円

設備投資(発注ベース)	21年度 実績	22年度 見通し	対前回 (5/13公表)	22/1Q 実績	22/1Qの主な案件
エネルギーシステム ソリューション	120	220	0	7	
インフラシステム ソリューション	152	210	0	21	
ビル ソリューション	137	180	0	25	
リテール&プリンティング ソリューション	60	90	0	19	
デバイス&ストレージ ソリューション	682	1,000	0	621	パワー半導体増産投資
デジタル ソリューション	17	30	0	1	
その他	507	470	0	171	ITシステム刷新/次世代基幹システム
<b>合計</b>	1,675	2,200	0	865	
<b>投融資</b>	121	600	0		

# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/13公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	5,590	<b>6,300</b>	+710	(+13%)	+200
	営業損益	356	<b>440</b>	+84		0
	ROS	6.4%	<b>7.0%</b>	+0.6%pt		▲0.2%pt
発電システム	売上高	3,822	<b>4,200</b>	+378	(+10%)	+250
	営業損益	358	<b>360</b>	+2		0
	ROS	9.4%	<b>8.6%</b>	▲0.8%pt		▲0.5%pt
原子力 火力・水力	売上高	1,466	<b>1,670</b>	+204		0
		2,356	<b>2,530</b>	+174		+250
送変電・配電等	売上高	1,831	<b>2,250</b>	+419	(+23%)	0
	営業損益	22	<b>60</b>	+38		▲20
	ROS	1.2%	<b>2.7%</b>	+1.5%pt		▲0.9%pt
その他	売上高	▲63	<b>▲150</b>	▲87		▲50
	営業損益	▲24	<b>20</b>	+44		+20

※ 21年度実績は送変電・配電等とその他で一部を組み替えております。

# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

## ビルソリューション

単位:億円

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/13公表)
インフラシステム ソリューション	売上高	6,547	<b>7,000</b>	+453	(+7%)	0
	営業損益	417	<b>510</b>	+93		0
	ROS	6.4%	<b>7.3%</b>	+0.9%pt		0.0%pt
公共インフラ	売上高	4,034	<b>4,250</b>	+216	(+5%)	0
	営業損益	450	<b>410</b>	▲40		0
	ROS	11.2%	<b>9.6%</b>	▲1.6%pt		0.0%pt
鉄道・産業システム	売上高	3,090	<b>3,400</b>	+310	(+10%)	0
	営業損益	▲33	<b>100</b>	+133		0
	ROS	▲1.1%	<b>2.9%</b>	+4.0%pt		0.0%pt
その他	売上高	▲577	<b>▲650</b>	▲73		0
ビルソリューション※	売上高	5,990	<b>4,500</b>	▲1,490	(▲25%)	+100
	営業損益	263	<b>160</b>	▲103		▲30
	ROS	4.4%	<b>3.6%</b>	▲0.8%pt		▲0.7%pt
昇降機		2,369	<b>2,270</b>	▲99	(▲4%)	+140
照明	売上高	1,156	<b>1,320</b>	+164	(+14%)	0
空調		2,496	<b>970</b>	▲1,526	(▲61%)	0

※ 22年度業績予想には、東芝キヤリア(株)の株式譲渡に伴う影響を織り込んでいます。

# デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/13公表)
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	8,598	<b>8,900</b>	+302	(+4%)	▲300
	営業損益	657	<b>750</b>	+93		▲50
	ROS	7.6%	<b>8.4%</b>	+0.8%pt		▲0.3%pt
半導体 <sup>※1</sup>	売上高	3,640	<b>4,400</b>	+760	(+21%)	+100
	営業損益	490	<b>670</b>	+180		+50
	ROS	13.5%	<b>15.2%</b>	+1.7%pt		+0.8%pt
HDD他 <sup>※2</sup>	売上高	4,958	<b>4,500</b>	▲458	(▲9%)	▲400
	営業損益	167	<b>80</b>	▲87		▲100
	ROS	3.4%	<b>1.8%</b>	▲1.6%pt		▲1.9%pt

※1 : ディスクリット、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

※2 : HDD、部品材料、転売等

**TOSHIBA**